

なら歯と口腔の健康づくり計画の 中間見直しについて

「なら歯と口腔の健康づくり計画」の中間見直しの概要

基本的な考え方

- ライフステージごとの取組のうち、乳幼児期(0～6歳)・妊婦、少年期(7～18歳)及び高齢期(65歳以上)の指標については概ね順調に進捗しているものの、青年期(19～39歳)・壮年期(40～64歳)については進捗していない指標が多いなど課題もことから、**計画の中間年において、指標の改善状況を整理及び評価し、計画後半に**おける目標を設定。
- **計画の基本的な考え方や施策体系は踏襲**する。計画後半も、保健・医療・福祉・介護等の分野横断的な上位計画である「なら健康長寿基本計画」に掲げる「健康寿命日本一」の目標達成に向け、基本計画に連動する歯車として一翼を担うとともに、関連する計画と整合・調和を保ちながら、引き続き推進する。

主な指標の進捗状況

- 目標達成済み(7項目) ⇒ **目標値を上方修正**
 - むし歯の無い12歳児の割合 ⑳56.2%→㉑68.1%(目標値65.0%→69.5%)
 - 20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合 ㉒27.1%→㉑23.4%(目標値24.4%→21.0%)
 - 60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合 ㉒67.4%→㉑76.2%(目標値75.0%→76.5%)
- 計画策定時より改善(9項目) ⇒ **目標値維持**
 - むし歯の無い3歳児の割合 ㉒76.1%→㉑81.5%(目標値90.0%)
 - 歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合
男性:㉒33.0%→㉑41.5%(目標値50.0%) 女性:㉒39.6%→㉑47.5%(目標値50.0%)
- 変化なし(6項目) ⇒ **目標値維持**
 - 80歳で20本以上自分の歯がある人の割合 ㉒43.3%→㉑43.7%(目標値55.0%)
 - 不正咬合等が認められる3歳児の割合 ㉒12.6%→㉑12.9%(目標値12.0%)
- **悪化(3項目)**
 - 40歳で進行した歯周炎を有する人の割合 ㉒42.7%→㉑52.6%(目標値30.0%)
 - 60歳で進行した歯周炎を有する人の割合 ㉒56.9%→㉑67.6%(目標値45.0%)
 - 60歳代で咀嚼が良好な人の割合 ㉒91.6%→㉑67.5%(目標値 現状維持→71.2%) ⇒ **目標値設定**
- 評価が困難(1項目) ⇒ **計画策定時に目標設定がなかったものについて新たに目標値を設定**
 - 12歳で歯肉に炎症所見がある人の割合 今後把握→㉑15.5%(目標値:今後設定→13.4%)

領域	評価A+	評価A	評価B	評価C	評価D
1. ライフステージごとの現状と課題					
(1) 乳幼児期(0～6歳)・妊婦	2	1	1	0	0
(2) 少年期(7～18歳)	2	2	0	0	1
(3) 青年期(19～39歳)・壮年期(40～64歳)	2	3	3	3	0
(4) 高齢期(65歳以上)	1	2	1	0	0
2. 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応					
(1) 障害のある人	0	1	0	0	0
(2) 介護が必要な高齢者	0	0	1	0	0
3. 社会環境の整備					
合計	9 (うち再掲2)	11 (うち再掲2)	6	3	1

A+ : 改善して目標を達成した
 A : 改善している (目標は未達成)
 B : 変わらない
 C : 悪化している
 D : 評価が困難

今後の重点的取組

- 「ライフステージごとの取組」のうち、**青年期(19～39歳)・壮年期(40～64歳)に対する取組強化**
 - ・ 特定健診の質問票に新たに追加される項目により把握されたハイリスク者への**歯科検診受診勧奨**等
食事をかんで食べる時の状態
(①何でもかんで食べることができる ②(略)かみにくいことがある。③ほとんどかめない)
 - ・ **歯周病の早期発見の取組強化に向け新たな指標を追加**
健康増進事業による歯周疾患(病)検診実施市町村数(現状値:25(H27) → 目標値:29(H34))
- 市町村における歯科口腔保健の推進体制の強化
 - ・ **口腔保健支援センターを健康推進課に設置し、市町村における取組の支援強化**

口腔保健支援センター

- ・ 「歯科口腔保健の推進に関する法律」第15条の規定に基づき、都道府県、保健所設置市等が設置
- ・ 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発等や歯科検診の受診勧奨等、歯科医療等従事者に対する情報提供、研修実施等を支援

目標値を新しく設定した指標

No.	指標名	計画策定時の現状値(年)	計画策定時の目標値(H34)	目標値設定の考え方	最新値(年)	新たな目標値(H34)	新たな目標値設定の考え方
1	むし歯(う蝕)の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数	14市町村 /35.9% (H23)	21市町村 /53.8%	H17-23から推計したH34予想値	24市町村 /61.5% (H28)	37市町村 /94.9%	H20-H28から推計したH34予想値
2	妊婦に対する歯科口腔保健指導等を実施する市町村数	17市町村 /43.6% (H22)	27市町村 /69.2%	年に1市町村ずつ増やす	32市町村 /82.1% (H28)	36市町村 /92.3%	H22-H28から推計したH34予想値
3	むし歯(う蝕)の無い12歳児の割合	56.2% (H23)	65.0%	国目標値と一致	68.1% (H29)	69.5%	H20-H29から推計したH34予想値
4	12歳児の平均むし歯(う蝕)本数が1本未満である市町村数	17市町村 /43.6% (H23)	23市町村 /59.0%	国目標値と同様約6割の達成	27市町村 /69.2% (H29)	31市町村 /79.5%	H21-H29から推計したH34予想値
5	20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合	27.1% (H24)	24.4%	現状から10%減	23.4% (H29)	21.0%	最新値(H29)から10%減
6	60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合	67.4% (H23)	75.0%	H19-23から推計したH34予想値	76.2% (H29)	76.5%	H23-H29から推計したH34予想値
7	1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合(65歳以上)	33.0% (H23)	36.3%	現状から10%増	38.1% (H29)	41.9%	最新値(H29)から10%増

壮年期(40~64歳)において、新たに設定した指標

No.	指標名	最新値(年)	目標値(H34)	目標値設定の考え方	出典
1	健康増進事業による歯周疾患(病)検診実施市町村数	25市町村 /64.1% (H27)	29市町村 /74.4%	H20-H27から推計したH34予想値	地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)